

# 京都外国語大学連携科学研究

## 事業の趣旨

中学校英語教育における自己調整学習能力育成の実証的研究

## 取組概要

授業での学習に家庭学習を組み込んだ自己調整（自律）学習能力育成モデルを創出

中学英語授業において検証授業を通じてそのモデルを検証

「英語の自主的な勉強について」→「英語の授業」→「振り返りと新たな目標設定」→「英語の授業」→「振り返りと新たな目標設定」

自己調整（自律）学習能力育成モデルの一般化を図る

生徒の発話の質的分析

事前事後アンケート調査（学習動機・自己効力感・メタ認知等に関するもの）

自己調整（自律）学習能力は、発達段階で自然に身につくものではなく、教師側の意図的な介入と学習者による意識的な学習が必要である。

## 取組期間

平成 25 年度・平成 26 年度・平成 27 年度

## 取組成果

（平成 25 年度）

生徒の授業に対する姿勢が意欲的になっている。

自分で目標を決め、家庭学習の計画をたて実践する喜びが見られる。

（平成 26 年度）

平成 26 年 8 月にオーストラリア・ブリスベンで、平成 27 年 3 月にスペイン・マドリードで行われた国際学会で取組を発表した。中学での自律性を育てる活動（教材）が国際的にも好評を得、価値が裏付けられた。